

週刊新社会

4月3日



2018年号外
野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp/
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

森友文書改ざん究明「納
得できない」が世論。
納得には安倍退陣必要

3月議会終わる 市議選目前 市長の全事業見直し 今後も注目

野田市3月議会は先月23日、市長提案41件、諮問1件、陳情1件を可決し、議員提案発議2件を否決して閉会した。なお東條三枝子教育長が任期満了で退任し、4月から佐藤^{ひろし}裕教育長となる。

市長の提案した国民健康保険条例の一部改正の撤回、再提案など一部混乱があった3月議会だが、既報のように新社会党と共産党が初めて国民健康保険特別会計予算に賛成するという議会となった。

鈴木有市長となって2回目の

予算編成は昨年度1年間すべての事業をその必要性等について見直し、自治会や医師会等については見直しが終わってはいないものの、279事業で方向が定まったという。当然事業縮小や廃止もある。

新年度予算はその影響が現れ、

3歳児までの医療費の無料化や就学援助費対象収入を生活保護水準の1.25倍から1.5倍としたこと、生活道路修繕事業を地域の年度単位のサイクル化などで成果を強調している。この見直しによる財政効果は見直しによる増加分800万円、拡充分で9500万円増、縮小分9400万円及び廃止分で1億6700万円減となり、差し引き1億5800万円減となったという。

当然、し尿収集の完全民間委託化も入っていると思われ、すべて合点がいくものではない。より内容の精査が必要だ。ただ、新市長となって前市長の事業をすかさず洗いなおして、特に子どもの福祉サービス拡充に目を向けたことは評価できる。

議案等の賛否で各会派で態度が異なるものを2頁に一覧化し、新社会党の考えを記した。国に対する意見書（発議）では新社会党、共産党、市民ネットに加え、民進連合も同一歩調をとった。

3日に臨時議会開催

野田市長は3月27日に臨時議会の招集告示した。4月3日10時から議案1件を議会に提案する。

議案名は「指定介護予防支援事業等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予

防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正」。

内容はともあれ、4月1日施行分もあり、なぜ遅れたのかも含めきちんと審査をしてもらいたい。



左の写真はニリンソウの開花

佐藤^{ひろし}裕 新教育長プロフィール

- ・1955年生まれ・62歳
- ・新潟大学卒業後千葉県教育職入職。中学校などや市教委（指導主事や学校教育部長等）勤務
- ・東部中や第一中学校長を経て2016年3月定年退職
- ・同年4月から南部梅郷公民館長

議案 番号	議案名	採決 結果	新社会党	共産党	市民 ネット	民進 連合	無所属 の会	市民 の風	みん清 クラブ	政清会	公明党
議案 第 2 号	市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の制定	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第 3 号	一般職の職員の給与に関する条例及び野田市ホテル等の建築規制に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議案 第 6 号	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第 9 号	重度心身障がい者医療費助成金支給条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第 12 号	介護保険条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議案 第 20 号	市立花輪保育所の指定管理者の指定	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議案 第 21 号	市立北部保育所の指定管理者の指定	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議案 第 23 号	平成 30 年度一般会計予算	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議案 第 24 号	平成 30 年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 第 27 号	平成 30 年度介護保険特別会計予算	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議案 第 29 号	平成 30 年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議案 第 30 号	平成 30 年度水道事業会計予算	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第 32 号	一般会計補正予算（第 7 号）	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議案 第 39 号	教育委員会教育長の任命	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
発議 第 2 号	憲法を国政に生かすよう求める意見書	否決	○	○	○	○	×	×	×	×	×
発議 第 3 号	生活保護費の引き下げ中止を求める意見書	否決	○	○	○	○	×	×	×	×	×

新社会党おさなみ議員の賛否判断（主なもの）

- 議案 2 号 職員の退職金引き下げについては遺憾としながらも職員組合の同意があるため賛成との判断。
- 議案 3 号 し尿収集の業務がこのことによってすべて民間委託となるため反対。
- 議案 6 号・同 9 号 それぞれ住所地特例の法律の条番号が変わったための条文整理で反対する理由がわからない。
* 住所地特例とは社会保険制度において、被保険者が住所地以外の市区町村にある介護保険施設等に入所又は入居をすることで施設等の所在市町村に住所を変更した場合、住所を移す前の市区町村が引き続き保険者となる特例措置のこと。
- 議案 12 号・同 27 号 介護保険料引き上げと第 7 期計画に新たな特養施設増設がないことと、それを前提にした予算であるため。
- 議案 20 号・同 21 号 コスト削減のための民間委託で、そこで働く保育士等の低賃金を前提にしているため。
- 議案 23 号 低コスト運営のツケを非正規労働者や民間低賃金労働者にしわ寄せしているためなど。
- 議案 24 号 既報のとおり、国保料引き下げや保険施策の向上があるため。
- 議案 29 号 保険料引き上げがあり、年齢区分する医療制度は反対。逆にかつてのように無料化すべき。
- 議案 30 号 上花輪浄水場を民間委託していること、膨大な内部留保を水道料金値下げに回さないことで反対。